認証方法

医中誌Webの認証方法は以下の3つから選択できますが、セキュリティ面からIPアドレスを使った認証方法をお勧めします。施設ごとの状況に合わせて、1契約内で複数の認証方法を併用することも可能です。



❶ IPアドレス
❷ ID/パスワード
❸ IPアドレスとID/パスワードの掛け合わせ
（IPアドレスを通過した後にID/パスワードを入力）

複数施設間での同時アクセス数の割り振り

複数施設で使用する場合、1つの施設がアクセス数を占有しないよう、各施設でアクセス数を割り振って固定する設定も可能です。これにより、例えば「図書館来館者用のアクセス数は常に1アクセス確保しておく」といった運用ができます。

例）同時アクセス数4を複数施設で割り振り設定する場合



利用施設数が同時アクセス上限数を超えない範囲で設定が可能です。利用施設数が多い場合は、どのような運用にされたいかを伺いながら、なるべくご希望に沿う形で調整いたします。

FAQ よくあるご質問

Q 契約は年度途中からでも可能ですか？

何月からでも可能です。原則として契約月から1年間のご契約ですが、ご事情によっては取扱代理店にご相談いただいた上で契約月を調整することも可能な場合があります。

Q 文献の本文はどのようにすれば読めますか？

医中誌Webは二次資料データベースのため、本文そのものは提供していません。
しかし、文献ごとに様々な電子ジャーナルサイト（本文を提供しているサイト）へリンクしており、本文入手のナビゲートをしています。
電子ジャーナルサイトで公開されていない文献の場合は、自治体内の図書館や国立国会図書館、または民間企業が提供する複写サービスを利用して本文の複写物を入手できる場合があります。

Q 大学や病院での利用はできますか？

大学や専門学校などの教育機関、および病院や診療所などの医療機関は本プランの適用対象外です。これらの機関での利用については別途ご契約が必要です。教育機関・医療機関専用のプランもご用意していますので、取扱代理店までお問い合わせください。

Q 図書館で来館者が利用することは利用規程上の問題はありませんか？

公共図書館に来館して医中誌Webを利用すること自体は、利用規程上の問題はありません。ただし、ID/パスワードを使って館外で利用することは禁止しています。（リモートアクセスオプションを契約いただいた場合も、リモート利用できるのは施設に所属している職員のみです。）このような理由もあり、認証方法はIPアドレスを利用することをお勧めします。

ご契約に関するご案内

ご利用料金

同時アクセス上限2の場合税別25万円/年です。同時アクセス上限数により料金が変わります。料金の詳細は、料金表または医学中央雑誌刊行会のウェブサイトをご覧ください。

お申込み

ご契約のお手続きは右記の取扱代理店にて承ります。お見積りも含め、ご契約に関する内容は取扱代理店にお問い合わせください。

無料トライアル

1か月間、本契約時と同様の内容をお試しいただけるトライアルをご用意しております。お申込みは取扱代理店にて承ります。

お問い合わせ

お申込みやサポート、サービスの詳細については、右記の取扱代理店にて承ります。

医中誌Web取扱代理店

株式会社 紀伊國屋書店
デジタル情報営業部
〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10
Tel：03-6910-0518
Fax：03-6420-1359
E-mail：online@kinokuniya.co.jp

丸善雄松堂 株式会社
学術情報ソリューション事業部
〒104-0033 東京都中央区新川1-28-23
東京ダイヤビルディング5号館10階
Tel：03-6367-6114
Fax：03-6367-6188
E-mail：epro-j@maruzen.co.jp

株式会社 サンメディア
〒164-0012 東京都中野区本町3-10-3
PORT91
Tel：03-3299-1575
E-mail：ichushi@sunmedia.co.jp

ユサコ 株式会社
研究支援事業部 営業部
〒106-0044 東京都港区東麻布2-17-12
E-mail：tokyo-sales@usaco.co.jp

株式会社 図書館流通センター
営業部
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
Tel：0120-801202
E-mail：desk@mail.trc.co.jp

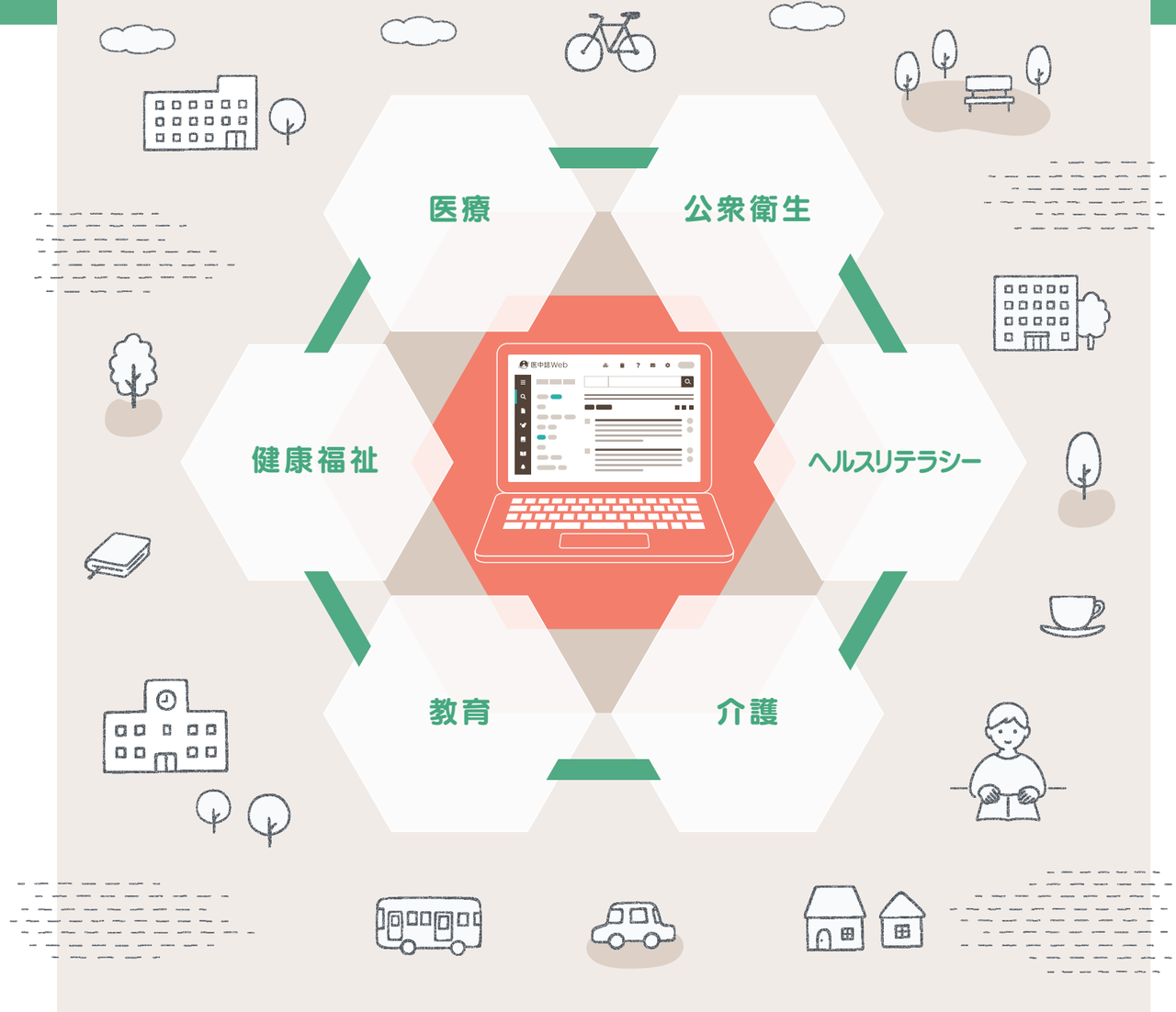
NPO ICHUSHI
特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-5-18 https://www.jamas.or.jp/
Tel：03-3334-7625 E-mail：info@jamas.or.jp

G2026.⑩② Ⓐ

自治体（行政機関・図書館）プランのご案内

自治体内の複数施設で利用もOK！

地域の健康・生活・安心を学術情報の面からサポートする



〈国内最大級〉の医学文献情報データベース 医中誌Web

医中誌Webとは

医学・歯学・薬学・看護学・公衆衛生学および関連分野の学術文献情報を検索する際の代表的なツールとして、多くの大学や病院、製薬企業などで日々利用されている専門的なウェブサービスです。1903年（明治36年）の創業以来、冊子からCD、そしてウェブへと、時代に合わせて提供媒体を変えながら進化してきました。
今では医療従事者や研究者などの専門家だけでなく、行政機関や報道機関、一般市民など、様々に利用が広がってきています。多種多様な情報が飛び交う現代において的確に情報を探し出す必要性は高まっており、医中誌Webはそれに応えるデータベースであり続けます。

「自治体（行政機関・図書館）プラン」について

地方自治体の行政機関と図書館専用のプランで、同一自治体内の複数施設でご利用いただけます。
医中誌Webは専門的なデータベースのため、行政機関や図書館においては病院や大学ほど頻繁に使うことは多くないと考えられますが、それぞれに活用場面があり、既に複数の自治体様でご利用いただいています。
政策課題解決のための学術文献調査のほか、図書館での利用を通じた市民向けサービスの充実など、地域の医療健康・社会福祉の向上のためお役立ていただければ幸いです。





保健所 保健センター

感染症対策、薬事、食品衛生、精神保健、災害医療、環境、障害者福祉、介護福祉など、多岐にわたる保健所の業務で活用いただけます。医中誌Web収録データの対象範囲は、保健所の業務範囲に関する内容を広くカバーしているため、専門分野を異にする多職種のニーズにもお応えします。



都道府県庁 市区町村役場

近年、EBPMが重要視されています。医中誌Webは既存の研究や解説記事などを見つけるための資料収集ツールですので、EBPMの実践にあたり導入しやすいものといえます。
様々な分野のRCTや政策の分析などについて述べられた文献の情報を幅広く検索でき、健康推進施策や、将来のパンデミックや災害に備えるための資料収集にお役立ていただけます。



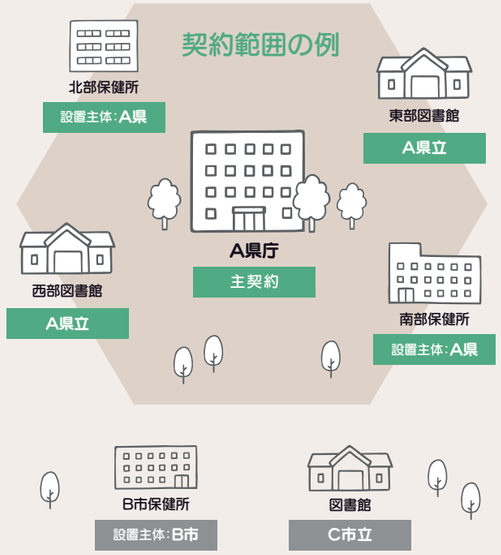




公立図書館

インフォームドコンセントの普及などを背景に、一般市民においても専門的かつ信頼性の高い医療健康情報のニーズが高まっています。希少疾患や難病の情報のほか、健康情報のエビデンスを調べるツールとして活用されており、医療リテラシー向上の一助となることが期待されます。
また、国立国会図書館と同様に、政策立案のため議会議員の方にも活用いただけます。

本プランの適用対象施設



都道府県庁・市区町村役場、保健所・保健センター、図書館などが対象です。同一自治体内の複数施設で追加費用なく利用可能です。主契約の名義はどの施設でも構いません。また、対象施設のうち、どの施設で利用するかは各自治体様でお選びください。

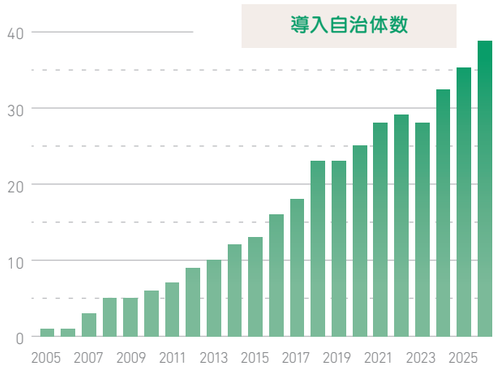
都道府県の場合、その都道府県が設置主体である保健所や県立図書館などが対象となります。同県内の市区町村役場や市区町村立図書館、市区町村が設置主体の保健所・保健センターで利用する場合は、各市区町村でのご契約が必要です。（対象施設は設置主体の自治体に紐づきます。）

例えばA県庁で契約した場合、A県立図書館やA県が設置主体の保健所でも利用可能です。一方、A県内に所在していても、設置主体がA県でない施設は適用対象となりません。
なお、医療機関、教育機関、消防機関などは本プランの適用対象外です。その他のプランにてご検討ください。
適用対象等については分かりづらい点もございますので、ご不明の場合は取扱代理店または医学中央雑誌刊行会までお問い合わせください。

導入実績

現時点で複数の自治体様でご利用いただいており、導入自治体数も年々増加しております。市役所の健康福祉部門が中心となって利用している場合や公立図書館で市民が使えるサービスとするなど、その自治体のニーズに応じて活用いただいています。また、本プランの開始により、既に複数の自治体様で多施設での共同利用を開始または検討が進められています。

なお、複数施設での共同利用については、必ず複数施設で利用しなければならないということはなく、単独機関でご契約・ご利用いただくのも全く問題ありません。単独機関や特定の部署名でご利用いただいている自治体様もあります。自治体内のニーズに応じて契約主体の機関や他の利用施設など、都度調整いただけます。



導入事例

医中誌Webを導入いただいている機関様を一部ご紹介します。 ※取材時点（2025年11月）のものです。

いなべ市役所 様（三重県いなべ市）

いなべ市は、自動車関連企業などが進出して発展を続けながら、緑も豊かな活力ある住みよいまちです。
保健福祉行政では、「ひとりひとりが自分らしく、健康でいきいき暮らし、住み慣れた地域で支え合える住民」という住民像に向け、保健師・栄養士が所属する組織横断的な医療職チームがライフコースアプローチを重視して取り組んでいます。医中誌Webは、保健事業と介護予防の一体的実施の事業構築にあたって参考になる新たな知見や最新の研究を調べるほか、学会発表のための資料収集にも活用しています。
（福祉部長寿福祉課 ご担当者様）



2019年に完成した「にぎわいの森」（市役所庁舎と商業施設を併設するまちづくり拠点）